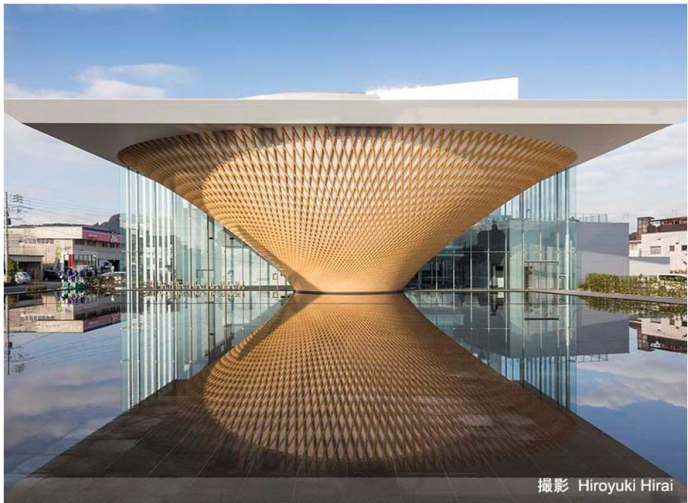


外観



逆円錐型の建物が水深3cmと薄く均一に巡らされた水盤に反射し、「逆さ富士」として富士山型の虚像を映し出す。

内観



高さ14mの逆円錐型の木製格子壁は、ガラス張りの内部にも連続する。4層吹き抜けのアトリウムでは、大迫力の構造体を間近に見られる。

1F 北棟入口



壁面グラフィックはバイリンガルに統一され、展示内容の説明モニターは言語対応(日・英・韓・中[簡・繁])としている。

外観



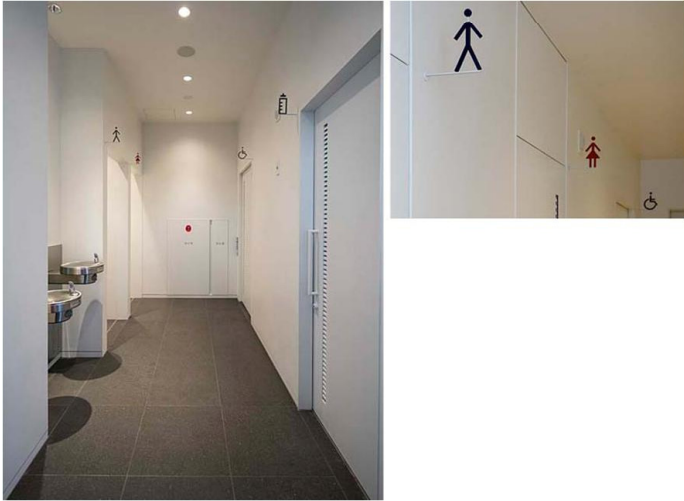
水盤に映り込む「逆さ富士」と建物との対比。富士山系の湧水を館内空調の熱源に利用した後、水盤に供給。外壁の木格子は富士山で育ったヒノキを使用している。

内観



円錐内部のプロジェクションマッピング。四季や標高の違いによる富士山の多彩な表情を、螺旋状のスロープからの登山者目線で体感できる。

トイレ入口



1F・2F・5Fに配されたレストルーム。視認性のよい立体的なサインマークにより、男女トイレ、多機能トイレ、授乳室の場所がひと目でわかる。

1F 男性トイレ・女性トイレ



男女別なく子育てに取り組む近年の傾向に対応し、1Fの男性トイレ・女性トイレにはそれぞれ「キッズトイレ」(幼児用大便器ブース)を設置。洗面器の内1ヶ所はお子様の使いやすさを考慮して低めにしている。

1F・2F・5F 多機能トイレ



3フロアのトイレすべてに多機能トイレを備える。オストメイト対応トイレバック、車いすから移乗しやすい跳ね上げタイプの手すり・L型手すり、座位の安定をサポートする背もたれなどを設置。

建築概要

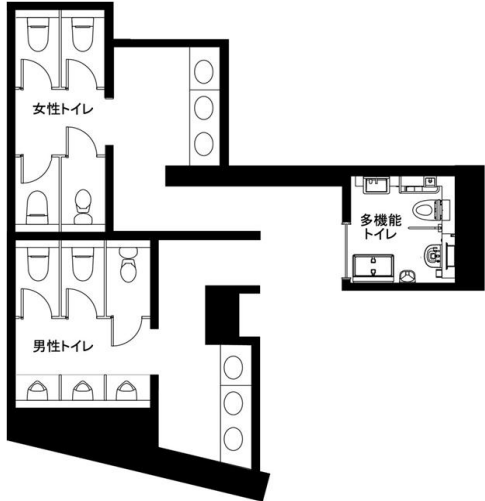
名 称	静岡県富士山世界遺産センター
所 在 地	静岡県富士宮市宮町5-12
施 主	静岡県
設 計	坂茂建築設計事務所
施 工	佐藤工業・若杉組特定建設工事共同企業体
竣 工 年 月	2017年11月

5F トイレ入口 男性トイレ・女性トイレ



5Fの男性トイレ・女性トイレは、手洗器を備えた個室完結型。大きな鏡とカウンターのあるゆったりとしたつくりで、清潔感にあふれている。

1F トイレ図面



水まわりの特長

<建物の特徴>
2013年6月、富士山は「信仰の対象と芸術の源泉」としてユネスコ世界文化遺産に登録された。静岡県富士山世界遺産センターは、その美と伝統を国の内外に知らせ、秀麗な姿と比類なき文化的価値を守り続ける拠点となることを目的に建設された。富士ヒノキの木格子に覆われた逆円錐型の建物は、前面の水盤に「逆さ富士」として富士山型の印象的な姿を映し出す。また内部では建物の形に沿った螺旋状のスロープで疑似登山を体験するとともに、富士山の文化・歴史・自然に関わるさまざまな展示を鑑賞できる。1年間の目標来場者数30万人のところ、開館から約半年で目標達成し、登山客や浅間神社参拝者など観光客の人気を集めている。

<トイレの特長>
1F・2F・5Fにあるトイレにはそれぞれ多機能トイレを配置。大便器ブースの個数・スタイルは階ごとに異なる。1Fでは男性トイレ・女性トイレにそれぞれ「キッズトイレ」を設置し、授乳室もある。一方、5Fは手洗器を備えた個室完結型。水まわりスペースは全体にコンパクトながら必要な機能を凝縮させたものとなっており、清潔感あふれるイメージが貫かれている。各トイレへと導くサインは、白い壁に映えるシンプルなもので、原研哉氏によるデザイン。ダウンライトや間接照明による柔らかな明かりの設計は面出薫氏。